

## Dialogue 14 Asking about the way to do something

### -道具をつかう-

#### 教室での活動案

#### アクティビティ名：「いっしょにぬろう！」

ぬり絵を用いて、何かで何かをすることについて聞いて理解する活動。

- 1) 黒板にぬり絵を貼る。生徒には同じぬり絵のコピーを配布する。
- 2) マーカーペン、クレヨン、色鉛筆などを提示し、それぞれ色の発音を確認する。

筆記用具：	marker 「マーカーペン」, colored pencil 「色鉛筆」, crayon 「クレヨン」, etc.
色：	red 「赤」, blue 「青」, yellow 「黄色」, green 「緑」, etc.

- 3) ぬり絵を指しながら、教師は“Let’s color this drawing in.”と述べる。  
そして“What should we use for the sky?” “What should we use for the trees?”などと尋ねる。
- 4) 生徒が答える。(答は色のみ、名詞のみでも良い。)
- 5) 教師は“Let’s color the sky in with this blue marker.” “Let’s color the trees in with this green crayon.”などと発音し、生徒にぬり絵の色付けをさせる。また教師自身も黒板に貼ったぬり絵の色付けをする。

＊ 生徒は指示が聞き取れればいい。教師の言ったことを繰り返させる必要はない。

応用) 違うぬり絵をコピーして配布し、ペアワーク、グループワークを行なわせる。

例：

教師) Let’s color this drawing in. What should we use for the sky?

生徒) Blue marker.

教師) Okay. Let’s color the sky in with this blue marker.

<Color the sky in with the blue marker. >

教師) Good. What are we coloring next?

生徒) Trees.

教師) What color are the trees?

生徒) Green.

教師) Should we use a marker, a colored pencil or a crayon?

生徒) Crayon.

教師) Okay. Let's can color the trees in with this green crayon.

<Color the trees in with the green crayon. >

教師) Good. What should we use for the flowers?

生徒) Red and yellow colored pencils.

教師) Okay. Let's color the flowers in with red and yellow colored pencils.

<Color the flowers in with red and yellow colored pencils. >

教師) Very good. We're done.

教師) この絵に色をぬりましょう。空には何を使ったらいい?

生徒) 青いマーカーペン。

教師) オッケー。青いマーカーペンで空をぬりましょう。

<青いマーカーペンで空をぬる。>

教師) いいですね。次は何をぬる?

生徒) 木。

教師) 木は何色?

生徒) 緑。

教師) マーカーペン、色鉛筆、クレヨン、どれを使ったらいい?

生徒) クレヨン。

教師) オッケー。緑のクレヨンで木をぬりましょう。

<緑のクレヨンで木をぬる。>

教師) いいですね。花には何を使ったらいい?

生徒) 赤と黄色の色鉛筆。

教師) オッケー。赤と黄色の色鉛筆で花をぬりましょう。

<赤と黄色の色鉛筆で花をぬる。>

教師) よくできました。完成です。

## 発展：「何を使って食べる？」

食べ物と食器の絵を用いて、何かで何かをすることについて話す活動。

- 1) 食べ物と食器の絵を提示し、それぞれ発音を確認する。

食べ物の絵：	rice 「ごはん」, spaghetti 「スパゲッティ」, steak 「ステーキ」, ice cream 「アイスクリーム」, etc.
食器の絵：	chopsticks 「箸」, fork 「フォーク」, knife 「ナイフ」, spoon 「スプーン」, etc.

- 2) 教師は“What do we use to eat rice?” “What do we use to eat spaghetti?”などと尋ねる。
- 3) 生徒が答える。
- 4) 教師は“We eat rice with chopsticks.” “We eat spaghetti with a fork.”などと発音し、生徒はそれを繰り返す。

例：

教師) What do we use to eat rice?

生徒) Chopsticks.

教師) Good. What do we use to eat spaghetti?

生徒) A fork.

教師) Okay. What do we use to eat steak?

生徒) A fork and a knife.

教師) Right. What do we use to eat ice cream?

生徒) A spoon.

教師) Very good.

教師) 私たちはご飯を食べるのに何を使う？

生徒) 箸。

教師) いいですね。私たちはスパゲッティを食べるのに何を使う？

生徒) フォーク。

教師) オッケー。私たちはステーキを食べるのに何を使う？

生徒) フォークとナイフ。

教師) そうね。私たちはアイスクリームを食べるのに何を使う？

生徒) スプーン。

教師) よくできました。

応用 1) 絵をコピーして配布し、ペアワークやグループワークも行なう。

応用 2) 文化の違いを教える。写真や絵を用意して会話のきっかけとすると良い。

例：・インド人は手でカレーを食べます。

Indian people eat curry and rice with their hand.

・アメリカ人はフォークでカップラーメンを食べます。

American people eat cup noodles with a fork.

・日本人は手で寿司を食べます。

Japanese people eat sushi with their hand.